

- 1 事業名 映画から学ぶ 映画人による講演と関連作品の上映
- 2 実施期日 令和7年9月30日(火)～10月3日(金)
- 3 対象学年 市内中学1～3年生
- 4 参加人数 907名
- 5 参加校数 中学校4校(第一中、大戸中、一箕中、河東学園後期課程)

6 事業内容

中学校の体育館に大型スクリーンを設置し映画を鑑賞するとともに、鑑賞後には、制作に携わった監督やプロデューサー等による講演を行うことで、子どもたちが作品をより深く理解し映画の素晴らしさを知るとともに、第一線で活躍する映画人に触れることで、憧れや感動する心を育てます。

- ・講師 石坂アツシ 氏(映画監督) イオンエンターテイメント株式会社(映画技師)
- ・作品 「石岡タロー」石坂アツシ監督作品
- ・会場 開催校の体育館

7 アンケート結果(参加生徒)

- 参加してとてもよかった・よかったとの回答の割合 98%

8 参加者の主な意見

- 「石岡タロー」を見て僕はとても感動しました。タローのいちずな生き方や、周りの人々の優しさを感じました。気づいたら映画にはいりこんでいて、がんばれーという気持ちや、かわいそうという気持ちなどいろいろな気持ちになりました。また、監督の講演でもあった「初めてだからをいいわけにしないでほしい」ということをきいて、今までの自分を振り返る機会にもなりました。映画館についての講演は、今まで普通に見にいていた映画館を大切にしたいという気持ちになりました。
- 生き物や命の大切さを知った。もっと人や物に対してもっと考えていきたいし、大切にしていきたいです。生き物についてもっと知っていきたいし殺処分されるのはかわいそうだから、そういうことをしっかり考えていきたいです。
- 監督さんのスマホがあれば映画はつくれるという言葉には感動しました。自分でも映画が作れて、もしかしたら賞をとることもできるかもしれないという希望もうまれました。
- 講演では、映画館の歴史などが、分かりやすく教えてもらって、映画館で見るよさが伝わりました。